

「肉用牛ゼミナール 流通研修」

第3班 In 大阪

研修日：平成27年2月5日(木)～2月7日(土)
研修先：大阪南港市場、「株式会社 大地」大阪支店他

2月5日から7日に流通研修第3班として、受講生の長谷雄さん、市原さん、渡邊さん、江藤さん、工藤さん、黒川さん、古田さん、桑原さん、石井さんの計9名が参加しました。



6日早朝、大阪南港に到着し南港市場へ移動。南港市場ではまず、全農肉牛枝肉協励会を視察しました。その日は全国から黒毛和種・交雑種含めて176頭の牛が出品されており、その中で大分県の出品牛と他県の出品牛との比較を中心に見学しました。



その後、9時20分から大阪市食肉市場株式会社 of 岸下取締役役に「会社の概要」・「最近の枝肉状況」等についてご説明を頂きました。



午後は大分県大阪事務所に移動し、吉田主任から「京阪神における【豊後牛】の取り組み」等のご説明を頂きました。

豊後牛の取扱店は9店舗から25店舗に拡大しており、ホテル日航大阪やホテルモントレ大阪は、豊後牛フェアの期間を延長するなど、徐々に浸透してきているようです。もっと認知度を上げるには定時定量の流通が前提であり、大阪への積極的な出荷をお願いしたいとお話がありました。その後、「阪急」「阪神」デパートで精肉販売の現場等も視察しました。



翌日は、江坂の「大地」大阪支社にて、「大地」の松村取締役、「ロックイン」古川取締役と意見交換をしました。

流通、焼肉業界がどのような肉を欲し、それに対し生産者がどう応えていくか…流通サイドと接点が少ない繁殖経営の受講生にとっては、流通の考え方が参考になったのではないかと、また生産者が今後「流通」までを意識した感覚で経営を捉えると新たな進展も開けるのではないかとともに、流通側に肉の食材としての可能性をもっと研究していきたいという強い意欲が感じられました。

